溶 射

第52巻 第1号 2015年1月

	Ħ			次			
《研究論文》 コールドスプレー Cu	. 甘塩公中階の仕羊変	にひばせた。、粒マ	正くだって見く郷			茂	1
フールドスプレー耐化	含コーティングさわた	Ni 其紹合全 IN7	281 (の 執 機 标	能产用作类的	th .		1
•••••		山崎	泰広,西済	佳成,深沼	博隆,大野	直行	7
《特集 溶射技術の総	括と展望, 日本溶射	学会としての方「	句性》			٠	
日本溶射協会と溶射打 日本溶射協会,学術	支術の歩み 翌休。の歴史の時代			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・・・・・・・上野	和夫奴掛	14
百年俗別協会, 学術的溶射技術の総括と展覧	団体への脱及の時代… 望,日本溶射学会とし	,ての方向性	福本	昌宏,黒田	聖治,榊	好樹 和彦	19 23
《解説 防食溶射シリ	ーズ3》						
防食溶射皮膜の腐食物	性評価 活動状況と施工実績		········ 高谷 ·····	泰之,戸越復	^性 一郎,原田 面出	良夫 隆男	26 35
《Q&A》							
新企画・溶射技術 Q&	&Α その5 ·········					•••••	38
《会社紹介》	and the first statement and store it is not	11.45-1.1			1.45		
	溶射技術開発研究所	技術支援センタ	<u> </u>		高谷	泰之	41
《溶射工業会便り》 溶射工業会ニュース					.1.17	ルン	40
			•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ШП	陵子	43
《若手の会》 若手の会 第22回総	会報告		湯本	敦史,佐藤	和人,濱田	幸隆	45
《会議報告》							
一般社団法人日本溶卵	村学会第100回(2014 まんの14年度もほかる!	年度秋李) 全国語	写演大会開催 報	始告	安井	利明	47
日平俗射子宏弗100世	引(2014年度 代学) 至 日 ン窓海溶射ローカショ	国再供人会ンノル ップ糸加朅失…	ンワム報音			基宏 雅人	49 51
日本溶射学会関西する	部2014年度研究集会	ソノ参加取日 報告			丸山	徹	52
日本溶射学会中部支	部第12期第6回溶射技	技術研究会報告			安井	利明	53
日本溶射学会関東支流	部2014年度第2回支部	邓講演会報告 …			永井	正也	54
ATSC2014参加報告			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		市川	裕士	56
日本溶射学会中部支持	部第12期・第7回「溶	射技術研究会」幸	8告		佐藤	隆夫	57
一般任団法人日本溶射 日本溶射学会第100 E 第6回サスペンション 日本溶射学会関西支持 日本溶射学会中部支持 日本溶射学会関東支持 ATSC2014参加報告 日本溶射学会中部支持 日本溶射学会関東支持	新2014年度第3回支部	『講演会報告 …	•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		和也	58
《今 報》							00
(一位)日本浴射字会, 入会状況	/ 理事会・安貝会/ タ	、部/共催・励質	字会の行事開	惟報吉			60 60
若手会員研究奨励基	金ご替同者名簿						61
(一社)日本溶射学会 入会状況 ···········若手会員研究奨励基金 2014年度上級溶射管:	理士資格修得者/20	14年度溶射管理:	上認定試験合 材	各者			61
《会告》							
	溶射学会 第101回	(2015年度春季)	全国講演大会記	講演募集(i)			
2. 「溶射交流会」開催							
	オトコンテスト」エン						
	里士講習会開催と認定 若手会員研究奨励基		시 (III <i>)</i>				
	マスティ アスティ アスティ アスティ アスティ アスティ アスティ アスティ ア		a.替学会/国際	S会議の行事!	間催塞内 (viii))	
	☆ はまる はなる はん		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 1. Hav. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	14 INT >101 4 (4III)		
	技術賞・技術功労賞						
《編集後記》					山田	基宏	(xi)

●表紙の写真●サブミクロン白金粒子

写真をご覧頂きまして、何を想像されるでしょうか?「ブラックダイヤモンド?」「変形したサッカーボール?」「蛙のタマゴ?」「細胞の核?」…等に見えないでしょうか?実は双方同じ物質で、今回発表させて頂("アークブラズマ法による白金ナノ粒子"を TEM 観察している際に、偶然に観察できた「サブミクロン・オーダーの白金ドロップレット」です。ドロップレットは均一な粒子や平坦な薄膜を製作する場合の障害となりますが、その実態が数十 nm のナノ結晶粒から構成されていることが分かりました。

-(アドバンス理工株式会社(旧社名:アルバック理工(株))田中 浩之,首都大学東京 高橋 智)

掲載済みの論文のうち最近のものは、(独) 科学技術振興機構 (JST) 「科学技術情報発信・流通総合システム」 (J-STAGE) にて公開されていますので、閲覧ください。

一般社団法人 日本溶射学会

特許法第30条の規定に基づく学術団体

本 部 〒 577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 4 階

関 東 支 部 〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院理工学研究科

中 部 支 部 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ケ丘1-1 豊橋技術科学大学 工学部機械工学系

関 西 支 部 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学 化学生命工学部

中国·四国支部 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 情報学部

溶射

日

次

第52巻 第2号 2015年4月

	_		**			
《研究論文》 コールドスプレーを用いた	・生休田多孔 質チタンコ	ーティングの闘発				
… 山崎 泰広, 関 翔 エアロゾルデポジション法	馬, 佐藤 達也, 大野	直行, 曽根 通介, 市川		, 小川	和洋	62
				楠川	順平	68
圧縮負荷によりせん断密着					泰広	74
《速報論文》 コールドスプレー皮膜への	STAC法の適用検討			乙部	勝則	80
《解説》 溶射管理士資格認定試験	問題と解説 (第1回)					84
《Q&A》 新企画・溶射技術 Q&A	その6					87
《 研究室紹介》 首都大学東京 大学院理工	学研究科 機械工学専	立 表面・界面工学研	- 究室	· 髙橋	智	88
《溶射工業会便り》 溶射工業会ニュース				·清水	夢佳	90
《 若手の会》 次回若手の会のお知らせ		湯本	敦史, 佐藤 和人,	濱田	幸隆	91
《会議報告》						
日本溶射学会九州支部2014						92
日本溶射学会中部支部第12					口和彦	93
日本溶射学会関東支部2014					智	94
日本溶射学会関西支部2015					徹	97
日本溶射学会中国・四国支					幸三	98
日本金属学会2015年春季大	に会報告	•••••		神	和彦	100
《会 報》 (一社)日本溶射学会/理事	[仝·丞昌仝·分科仝 /	(支部/ 土催・協替学会)	の行事盟催報告			102
入会状況						102
若手会員研究奨励基金ご賛						103
《 会 告》 1. 一般社団法人 日本溶射等	^芝 会第101 同 (2015 年度	· 春季) 全国講演大会· 鄒	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i) 5	プログラ	ム(ii)
2. 「溶射交流会」開催のご案 3. 「2015年度春季フォトコ	於内(iv)		WALL DISTRICT OF THE STATE OF T	1,,,,	. , ,	.,(11)
4. 2015年度春学フォトコ4. 2015年度溶射管理士講習						
5. ご入会のお勧め・若手会						
6. (一社) 日本溶射学会/理			行事開催案内(x)			
《編集後記》				和田	哲義	(xi)

●表紙の写真●金属の溶解作業の様子(出湯直前)

開発中の溶射用新規合金粉末試作の為、高周波誘導加熱により金属溶解をしている様子。様々な原料を配合して溶解を行う為、それぞれの原料の組成や形状から融点等を算出し、原料投入時の適切な原料挿入順序が必要であり、知識・経験を有する作業である。溶解作業が完了した後、CFJA(弊社で開発したアトマイズ法)を用いて溶射用微粉末を作製する。

尚この研究はJST様の支援を受け、岩手大学の末永陽介助教と東北大学金属材料研究所の千葉晶彦教授との共同研究にて現在も継続中。 (ハード工業有限会社 技術開発課 課長 和田 喜美男)

掲載済みの論文のうち最近のものは、(独) 科学技術振興機構 (JST)「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) にて公開されていますので、閲覧ください.

一般社団法人 日本溶射学会

特許法第30条の規定に基づく学術団体

本 部 〒 577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 4 階

関 東 支 部 〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院理工学研究科

中 部 支 部 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ケ丘1-1 豊橋技術科学大学 工学部機械工学系

関 西 支 部 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学 化学生命工学部

中国・四国支部 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 情報学部

溶 射

第52巻 第3号 2015年7月

	目		次		
会長就任のご挨拶	の紹介		······第36期会	長 黒田	聖治 104 ······ 105
副会長,支部・委員会 役員,監事 会長退任のご挨拶			第33-35期会	長 福本	昌宏 107
《2015年度「論文賞」「奨励賞」受賞: 【論 文 賞】					108 109
《 技術論文》 亜鉛溶射皮膜の表面に形成した腐っ					103
里面俗別及族の衣面に形成した例。	支生队物による灰糸頭	高谷 泰之, 戸越健 高谷 泰之, 戸越健	生一郎,進藤	亮太, 原田	良夫 110
《速報論文》 コールドスプレー皮膜の密着強度に 	こ与える基材加熱温原	度の影響 吉田 知聖, 渡邊	悠太, 山田	基宏, 福本	昌宏 116
《特集》 コールドスプレー法による酸化チ	タン成膜のための粉ぇ	卡材料	山田 🧃	基宏, 福本	昌宏 119
《解説》 溶射管理士資格認定試験 問題と	解説(第2回)				124
《Q&A》 新企画・溶射技術 Q&A その7・			•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	127
《会社紹介》 電力中央研究所エネルギー技術研究	完所における遮熱コー	- ティングに関する 	研究紹介 満利, 藤井	智晴, 尾関	高行 129
《溶射工業会便り》 溶射工業会ニュース				万代	剛史 131
《若手の会》 若手の会 第23回総会報告		湯本	敦史, 佐藤	和人, 濱田	幸隆 133
《会議報告》 第101回 (2015年度春季) 全国講演: 日本溶射学会西日本支部2015年度 第2回環境遮蔽コーティング研究気	見学会報告			足立期	和夫 135 長一郎 137 和洋 138
《会 報》 (一社)日本溶射学会/理事会·委 入会状況·若手会員研究奨励基金。	員会・分科会/支部/ ご賛同者名簿	/共催・協賛学会/	/国際会議の行	事開催報告	音···· 139 ······ 140
《会 告》 1. 関西支部と中国・四国支部の統2. 一般社団法人 日本溶射学会第103. 「溶射交流会」開催のご案内(iii) 4. 「2015年度秋季フォトコンテスト5. ご入会のお勧め・若手会員研究36. (一社) 日本溶射学会/理事会・	2 回 (2015年度秋季) 「エントリー募集の 奨励基金のお願い (iv	全国講演大会講演 お知らせ (iii))	募集(ii)	v)	
《編集後記》				桐原	聡秀 (vi)

●表紙の写真●ロケットブースターへの溶射

1950年代、わが国で開発されたカッパ型固体燃料ロケットのメインブースターノズルおよび補助ブースターノズルのスロート部には溶棒式フレーム溶射でジルコニアがコーティング施工されていました。基材は炭素で、溶射目的は高温下での耐エロージョン性を向上させるためでした。写真はそのメインブースターノズルへの溶射風景です。その後のラムダ、ミューの各固体燃料ロケットにも同様のコーティングが施工され、わが国初の人工衛星「おおすみ」を経て2000年あたりまでのミッションに採用されていました。

(日本コーティング工業(株)

掲載済みの論文のうち最近のものは、(独) 科学技術振興機構 (JST)「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) にて公開されていますので、閲覧ください。

一般社団法人 日本溶射学会

特許法第30条の規定に基づく学術団体

本 部 〒 577-0809 大阪府東大阪市永和2-2-29 永和ビル1号館4階

関 東 支 部 〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院理工学研究科

中 部 支 部 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ケ丘1-1 豊橋技術科学大学 工学部機械工学系

西 日 本 支 部 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学 化学生命工学部

溶射

第52巻 第4号 2015年10月

目	次
---	---

《研究論文》	
コールドスプレー模擬単粒子衝突試験装置の開発と粒子付着挙動の評価 伊藤 潔洋, 市川 裕士, 小川 和洋	141
《解 説》 溶射管理士資格認定試験 問題と解説 (第3回)	147
《Q&A》 新企画・溶射技術 Q&A その8 ···································	148
《夢を語ろう》 Development of High Functional Polymer/Metal and Polymer/Ceramic Integrated Systems, Dream Beyond Your Dreams	1.40
溶射における化学者の役割	149 150 151 152
《研究室紹介》 国立大学法人信州大学工学部機械システム工学科 材料加工学研究室 榊 和彦	153
《溶射工業会便り》 溶射工業会ニュース	155
《若手の会》 若手の会からのお知らせ ······市川 裕士	157
《会議報告》 丸山 徹 日本溶射学会西日本支部発足記念講演会報告 丸山 徹 日本溶射学会関東支部第1回基礎セミナー報告 髙橋 智 日本溶射学会関東支部2015年度第1回支部講演会報告 和田 国彦 2015年度第1回コールドスプレー研究分科会報告 小川 和洋 日本溶射学会九州支部2015年度研究会報告 片野田 洋 第7回アジア溶射会議ATSC2015報告 足立振一郎	158 159 161 162 163 165
《会 報》 (一社)日本溶射学会/理事会・委員会・分科会/支部/共催・協賛学会/国際会議の行事開催報告 … 入会状況・若手会員研究奨励基金ご賛同者名簿	167 168
《会 告》 1. 一般社団法人 日本溶射学会第102回(2015年度秋季)全国講演大会・懇親会開催のご案内(i) 第102回(2015年度秋季)全国講演大会プログラム(ii) 2. 「溶射交流会」開催のご案内(iv) 3. 「2015年度秋季フォトコンテスト」エントリー募集のお知らせ(iv) 4. ご入会のお勧め・若手会員研究奨励基金のお願い(v) 5. (一社)日本溶射学会/理事会・委員会/共催・協賛学会/国際会議の行事開催案内(vi)	
	()

●表紙の写真 ● JKUATでの大気プラズマ溶射装置の開発

私どもが共同研究をしております,ケニア共和国立ジョモケニャッタ農工大学 (JKUAT) 工学部機械工学科Prof. Maranga研究室での大気プラズマ溶射 (APS) 装置開発中の様子です.本装置は,市販のTIG溶接機を改造したAPS装置で出力5kW程度の小さな装置ですが,この試運転により,小水力発電機用バケットへのSUS316皮膜形成が可能である事を確認できました.現在当該皮膜の耐久性試験 (実機試験)に向けて準備に取り掛かっております. (足利工業大学 安藤 康高)

掲載済みの論文のうち最近のものは、(独) 科学技術振興機構 (JST)「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) にて公開されていますので、閲覧ください.

一般社団法人 日本溶射学会

特許法第30条の規定に基づく学術団体

本 部 〒 577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 4 階

関 東 支 部 〒192-0397 八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院理工学研究科

中 部 支 部 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ケ丘1-1 豊橋技術科学大学 工学部機械工学系

西 日 本 支 部 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学 化学生命工学部